

志賀自然教育研究施設年報

平成11(1999)年2月～平成12(2000)年1月

I 概 況

平成10年の2月から3月にかけて開催された冬季オリンピックやパラリンピックの宣伝効果で、多くのスキーヤーの入り込みが期待された平成11年の志賀高原のスキー場だったが、一般スキーヤーの入り込み状況は平成10年並といった感じのままでスキーシーズンは終わってしまった。

任期満了に伴う施設長選挙が2月に行われ、赤羽貞幸助教授（現教授）が施設長に再任された（任期は平成13年3月末まで）。引き続き施設の発展にご尽力いただくことになった。

5月にはカヤノ平のブナ原生林教育園内に、姫路工業大学の江崎保男助教授を中心にしたグループが、ブナ林の樹冠観測塔を建て、11月まで様々な観察や調査を行った。6月にはブナ原生林教育園入り口の大看板のペンキの塗り替えを行うとともに、志賀高原で開催された“高原サミット”に施設長及び施設主任が「志賀高原の自然」についての講演を行うことで協力した。昨年あたりから、従来の林間学校に環境学習を含める学校も見られるようになり、事前学習などで協力を依頼されることが多くなってきた。

8月から10月にかけては、研究施設本館やその周辺の水道管や下水道の配管設備に不具合が発生し、管理係や用度係の方々に修理や、修理依頼をしていただいて現状復帰をすることができた。11月には県の環境自然保護課公園整備係のご尽力で、アズマシャクナゲの群生地付近の自然観察路の木道の改修工事が始まった。

II 運営委員会・常任委員会

1. 第一回運営委員会：平成11年5月26日(水)（学部第一会議室）

最初に赤羽施設長よりあいさつがあり、その後(1)平成10年度事業報告、(2)平成10年度決算報告、(3)平成11年度事業案、(4)平成11年度当初予算案及び(5)平成10年度の施設利用状況についてそれぞれ審議し、原案どおり承認された。

上記項目以外に、赤羽施設長より国立大学環境教育関連施設連合会議の報告があった。また、カヤノ平ブナ原生林教育園内の説明板の老朽化が進んでいるので、設備更新の方法がないかどうか事務方へ調査をお願いした。

2. 第二回運営委員会：平成11年9月27日(月)（志賀自然教育研究施設）

10：00に教育学部を出発し志賀自然教育研究施設へ移動。施設到着後、施設内講義室で会議。

平成11年度の予算の執行状況について報告があり、了承された。その後、平成12年度施設概算要求について、施設長より説明があった。引き続き、“文部省による施設の見直し”について事務方より説明があった。

最後に、施設の管理・保全状況についての報告と、研究業績への原稿の投稿依頼について施設より提案があり承認された。

昼食後、研究施設本館周囲の自然観察路やロックガーデンの視察を行い、その後県道奥志賀公園線を通してカヤノ平ブナ原生林教育園へ移動。そこで自然観察路の視察やその維持管理の問題

点についての意見交換を行い、教育学部へもどった。

III 研究と教育活動

1. 志賀実習

平成11年度は、教育学部2年生全員が対象となる必修授業「自然教育」と教員養成課程合宿研修の合体した志賀実習を10班施設で受け入れた（赤羽施設長及び和田清教授にそれぞれ2班ずつ援助していただいた）。実習の日程は以下のとおり。

1) 自然教育+教員養成課程合宿研修

第1班：8月2日(月)～4日(水)

第2班：8月4日(水)～6日(金)

第3班：8月23日(月)～25日(水)

第4班：8月25日(水)～27日(金)

第5班：8月30日(月)～9月1日(水)

第6班：9月1日(水)～3日(金)

第7班：9月6日(月)～8日(水)

第8班：9月8日(水)～10日(金)

第9班：9月13日(月)～15日(水)

第10班：9月15日(水)～17日(金)

(総数 293名)

2. 大学院教育学研究科授業

「生物学特論Ⅰ」前期2単位、「生物学演習Ⅰ」通年2単位で開講（別府）。

3. 出版ほか

研究業績36号（500部印刷）を3月に、自然便り「長池の四季」（400部印刷）を5回（4，6，7，10，1月）発行した。

4. 大学関係の実習など

7月17日 信州大学教育学部博物館学（渡辺隆一助教授他）

7月24日～25日 信州大学大学院教育学研究科生物学特論Ⅴ（渡辺隆一助教授）

7月28日～30日 上越教育大学生物学実習（中村雅彦助教授ほか）

9月28日～30日 信州大学理学部物質循環学科実習

10月15日 信州大学学生協議会研修案内

5. 研修会・観察会支援活動

6月3日 下高井郡小・中学校教員初任者研修（木島平村カヤノ平）の講師

6月10日 自治大学校政策課題研究実地調査指導

6月19日 志賀高原“高原サミット”の講師

6月30日 長野県立須坂看護専門学校自然観察の現地指導

7月16日 埼玉大学教育学部附属中学校高原教室での講演

7月19日 府中市明星中学校及びお茶の水女子大学附属中学校林間学校の講師

9月29日 志賀高原エコロード観察会案内

など長野県内外の小・中・高校の林間学校の際の講演多数。加えて、様々な団体主催の自然観察会の講師及び協力、支援。

IV 園内整備

例年通り、志賀自然教育園内及びカヤノ平分園内の自然観察路の落ち葉掃除、側溝整備、笹刈り、階段整備を5月から10月まで行ったが、今年はカヤノ平ブナ原生林教育園内のNo. 114のブナの大木が平成10年9月の台風で倒れたため、その処理作業に5月は多くの時間をとられた。ま

た、施設脇のロックガーデンの草取りと名札つけ、ロープはりなどの作業も随時行った。今年のコマクサの植え替えを全面的に行い、同時に軽石の入れ替えも行った。

V 平成10年度の志賀施設の利用状況

(1) 資料館入館者の集計表

表1 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)
小 学 校	7 (9.9)	508 (8.5)	1 (4.5)	80 (7.3)	8 (8.6)	588 (8.3)
中 学 校	8 (11.3)	2,125 (35.7)	1 (4.5)	200 (18.2)	9 (9.7)	2,325 (33.0)
高 等 学 校	10 (14.1)	912 (15.3)	1 (4.5)	40 (3.6)	11 (11.8)	952 (13.5)
大 学	3 (4.2)	92 (1.5)	1 (4.5)	38 (3.5)	4 (4.3)	130 (1.8)
一 般	43 (60.6)	2,318 (38.9)	18 (81.8)	739 (67.4)	61 (65.6)	3,057 (43.3)
計	71(100.1)	5,955 (99.9)	22 (99.8)	1,097(100.0)	93(100.0)	7,052 (99.9)

表2 団体の県内外の比率 (%)

団体の種類	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	一 般
県 内	12.5	11.1	9.1	25.0	29.5
県 外	87.5	88.9	90.9	75.0	70.5

表3 月別参観者数

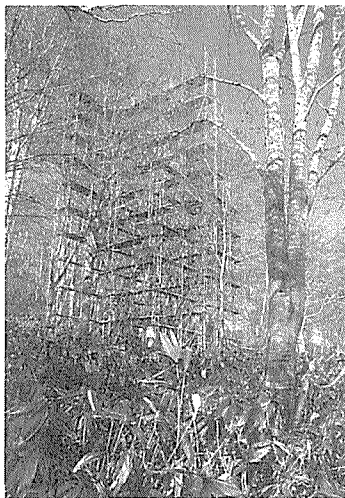
月	個 人 (%)	団 体		計 (%)
		団 体 数 (%)	人 数 (%)	
5 月	203 (6.8)	5 (5.4)	112 (1.6)	315 (3.1)
6 月	87 (2.9)	5 (5.4)	318 (4.5)	405 (4.0)
7 月	554 (18.5)	36 (38.7)	3,186 (45.2)	3,740 (37.2)
8 月	1,781 (59.6)	33 (35.5)	2,931 (41.6)	4,712 (46.9)
9 月	123 (4.1)	8 (8.6)	423 (6.0)	546 (5.4)
10 月	231 (7.7)	6 (6.5)	82 (1.2)	313 (3.1)
11 月	11 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (0.0)
計	2,990 (99.6)	93(100.1)	7,052(100.1)	10,042 (99.7)

(2) 志賀施設月別宿泊利用人数

区 分		年・月												計	備 考
		10年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11年 1月	2月	3月		
利用 人数	学 内 合宿研修等	10 0	0 0	0 0	36 0	6 87	10 184	0 0	0 0	0 0	0 0	38 0	8 0	人 108 271	
	学 外	0	0	0	28	24	1	2	0	0	7	48	0	110	
	計	10	0	0	64	117	195	2	0	0	7	86	8	(445) 489	
宿泊 延人数	学 内 合宿研修等	10 0	0 0	0 0	72 0	6 87	10 184	0 0	0 0	0 0	0 0	52 0	8 0	158 271	
	学 外	0	0	0	56	27	4	8	0	0	7	85	0	187	
	計	10	0	0	128	120	198	8	0	0	7	137	8	(822) 616	

() 内は平成9年度の数

◎ 平成10年度は合宿研修が一泊二日で実施されたため、8月と9月の宿泊者人数が例年より少なかった。



カヤノ平ブナ原生林教育園内に建てられた樹冠観測塔